



体験を通して自分の将来を考える

校長 吉田 尚子

本校のたくさんある体験活動の1つに、「未来の事業者育成事業」があります。5、6年生の児童が、建築や左官、着付けやフラワーアレンジメント作りなど6つの職業を実際に体験する事業です。

講師の先生方は、その道に卓越した技能をもってみえる方ばかりです。その技術に、実際自分の目で触れることができるのは、子どもたちにとって非常に貴重な体験となります。実際、大人の私が体験しても、思わず「すごい!」と、驚き声をあげてしまうほど素晴らしい技術ばかりでした。

活動中、子どもたちは「先生、これでいいですか?」と進んで質問したり、「もっと、こうやった方がいいよね。」と仲間と積極的に関わったりするなど、どの講座でも、本校の目指す姿「すすんで・なかまど・おわりまで」の生き生きとした表情で活動することができました。



「百聞は一見にしかず」ということわざがあるように、話をたくさん聞くことよりも、実際に自分たちで見る、聞く、触れるといった経験を通して学ぶことの方が、子どもたちの学びははるかに深まります。また、今回の職業体験授業では、子どもたちが自分の将来について考えることもでき、大きな成果を得ることができました。

「自分の将来を考える」ということは、「自分はどう生きるか」を自問自答しながらよりよく生きようとする営みです。卒業後に「夢や目標をもち、仲間とよりよくかかわりながら自分らしさを発揮する子」となって中学校へ進学できるよう、子どもたちの「自己肯定感・自己有用感・共感=所属感・コミュニケーション力」を高めていく中で、私たち教師自身が、生き生きとして子どもたちと向き合っていかなければならないと意を新たにしましたところ です。

いよいよ明日から夏休みが始まります。健康・安全に気を付け、充実した夏休みとなることを願うとともに、8月29日には笑顔で再開できることを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様には、4月からいろいろな場面でお世話になりました。どうぞ、よい夏休みをお過ごしください。